

奈弓連だより

通巻 172号

平成 28 年 6 月号 No 3

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 土谷尚敬 野尻賢司

平成 28 年度第 1 回伝達講習会が称号者を対象に開催される

6 月 5 日（日）に奈良市弓道場に於いて称号者を対象とする本年度第 1 回伝達講習会が開催されました。

この日は先日から暑さが少しおさまり、弓を引くには良い気候でした。参加者は 33 名という講習会としてちょうど良いくらいの人数でした。5 月 21 日、22 日に開催された近畿地区指導者講習会を受講した吉本清巳さん、藤岡さん、綿松さん、奥戸さん、野尻が講師を務めました。

講師たちは右記の「平成 28 年度指導方針」に従い、自分たちが先の講習会で受けてきた講習内容を今年は、いろいろ工夫して伝えました。一つは、吉本清巳講師が新しい発想で、スクリーンを道場に設置し、映像を使って説明したことです。もう一つは今までの講習では一手行射を行い、基本体、射技の研修などを行っていましたが、全員が「一つの射礼」を行い、その中で基本体研修一特に今年の指導項目の（1）～（6）一に注意しながら行射してもらいました。弓道に於いて使う体配の全てが一つの射礼に含まれているので、この入場から退場まで 3 人の射手の息合いが揃い、また動作も確実に行き、一つの流れとなるような研修を目指しました。一つの射礼を行う組を他の人々は講師の指導内容を周りで見ながら研修するというので、半分以上の人は一手しか引くことができませんでした。最後はスポーツ指導員資格を取得予定の 5 人が検定試験の一手行射をして終了しました。

後日、数人の参加者から「新鮮な感じがした講習会でした。」「体配中心の講習会に参加し、普段の練習では、細かい処まで注意されることもなく、『一生懸命のつもり』の練習をしていたことを実感しました。射技はみてください、という事はありますが、体配を



一つの射礼の位どりを熱心に行う受講生たち

平成 28 年度指導方針

～弓道教本及び副読本に基づいた基本の徹底～

■指導者の心得(地区指導者講習会及び指導者育成講習会)

1. 日本弓道の指導者として、自ら至誠と礼節を体現し真善美を目指すこと。
2. 指導者の持つ影響力を自覚し、自身の言動の倫理性について常に注意を払うこと。
3. 指導に当たっては、自らが実践躬行(じっせんきゅうこう)すること。
4. 指導に当たっては、弓道教本及び副読本に基づき全国的に統一された指導を行うこと。

■指導項目(地区指導者講習会及び指導者育成講習会)

1. 基本体及び射法・射技の基本(以下の事等)

(1)正しい歩き方の指導

射場内では、なるべく足の裏が見えないように、腰を軸にして歩く

右に方向(直角・斜めに)を変える場合は左足の踵から右足が出る

左に方向(直角・斜めに)を変える場合は右足の踵から左足が出る

(2)跪坐及び開き足の指導

(3)胴造りの際、弓の本弭は左膝頭におく

(4)正しい「的のねらい」の確認

(5)正しい「矢束を引き納め」の確認

(6)離れで弓の握りが落ちる(下がる)のを少なくする

2. 矢羽の取り扱いと矢羽の使用に関する準則の徹底を図る

3. あらゆる暴力やハラスメントの根絶を図る

4. 弓礼・弓法問答集の改訂箇所説明

5. 弓道競技規則の改定について周知を図る

6. 審査規定の改定について周知を図る

見てくださいという事は殆どなかったように思います。」などの感想をいただきました。(指導部 野尻祥枝)

第 6 回全日本弓道選手権大会奈良県予選会 男子は藤岡順、吉本清巳、女子は白井礼子、 東中千佳の各選手が奈良県代表に

平成 28 年 5 月 29 日（日）橿原公苑弓道場で第 6 回全日本弓道選手権大会奈良県予選会が男子 24 人、女子 23 人が参加して開催されました。競技は近的 8 射で行われました。結果は次頁左のとおりです。

最高得点賞 白井 礼子 (錬弓会)

成年男子の部

- 1位 中井 達男 (奈良)
- 2位 宮島 裕也 (橿原)
- 3位 吉本 清巳 (布目)

成年女子の部

- 1位 揚田 よう子 (奈良)
- 2位 東中 千佳 (橿原)
- 3位 白井 礼子 (錬弓会)

全日本弓道近的選手権大会出場選手

試合後、審査員協議の結果、次の選手が選ばれました。

- 男子 藤岡 順 (香芝) 教六
- 吉本 清巳 (布目) 教六
- 女子 白井 礼子 (錬弓会) 錬五
- 東中 千佳 (橿原) 錬六 (競技部 西田ゆり)

第4回ならシニア元気フェスタ弓道大会
男子個人は上所廣吉さん、女子個人は谷村由利栄さんが優勝

第4回ならシニア元気フェスタ弓道大会が、五月晴れの5月14日(土)に橿原公苑弓道場で行われました。参加人数が昨年の66人を大きく上回り最高の73人を数えるまでになり、年々盛り上がってきています。特に男子個人の部で優勝した上所廣吉さん(80歳)の8射7中が注目を集め、2回目の皆中には大きな拍手が送られました。また、ねんりんピック長崎大会への派遣チームは、大和郡山チームに決まりました。結果は次のとおりです。

団体の部

- 優勝 奈良団体6 (天野孝雄、上田耕平、鈴木秀子、谷村由利栄、松尾謙二) 24中
- 2位 奈良団体3 (徳田四郎、猪原句子、野尻賢司、平木一史、川西正人) 18中
- 3位 奈良団体3 (羽田幹枝、岡本ハツ子、河合博子、早山和子、野尻祥枝) 17中



団体の部で優勝した奈良団体6チームの後列左から 天野、上田、松尾、前列左から 谷村、鈴木 の各選手

個人男子の部

- 優勝 上所廣吉 7中
- 2位 天野孝雄 7中
- 3位 西中 正 6中

個人女子の部

- 優勝 谷村由利栄 6中
- 2位 早山和子 5中
- 3位 山下常子 5中



後列左から女子個人 3位山下、2位早山、優勝谷村、前列左から男子個人 2位天野、優勝上所、3位西中 の各選手



ねんりんピック長崎大会への代表に決まった大和郡山チーム (シニア部 千葉健一)

インターハイの県代表に、団体男子は橿原高校、女子は郡山高校が選ばれる

平成28年度全国高等学校総合体育大会(第61回全国高等学校弓道大会)、第69回近畿高等学校弓道大会の県予選会が6月12日に橿原公苑弓道場において開催されました。全国高等学校総合体育大会の団体の部、県代表に男子は橿原高校、女子は郡山高校が選ばれました。個人の部では、男子は石田侑也(畝傍高校)辻本大暉(畝傍高校)、女子は横前茉奈美(郡山高校)、木村知永(西の京高校)の各選手が選ばれました。また次頁左のリストに記載されている上位の高校、個人は田辺市弓道場で行われる第69回近畿高等弓道大会に出場します。予選会の結果は次の通りです。

団体の部 (5人立・6校でリーグ戦・チーム100射)

- 男子 1位 橿原高校 5勝0敗 74中
- (西田友樹・笠井大世・小西一輝・山田拓磨・宮本祐暉・神山清光)

- 2位 郡山高校 3勝2敗 64中
3位 畝傍高校 3勝2敗 55中



インターハイへの出場が決まり喜びの橿原高校の男子選手たち

- 女子 1位 郡山高校 4勝1敗 59中
(横前茉奈美・岡本奈緒・川上志月
小川古都乃・渡邊みなみ・安積朋香)
2位 榛生昇陽高校 4勝1敗 51中
3位 平城高校 2勝3敗 59中



インターハイへの出場が決まり喜びの郡山高校の女子選手たち

個人の部

- 男子 1位 石田 侑也 畝傍高校
2位 辻本 大暉 畝傍高校
3位 栗巢 勝毅 高田商業高校
4位 斉藤 淳一 奈良北高校
5位 森井 陸人 畝傍高校
6位 神山 清光 橿原高校
7位 谷尾 敦史 高田商業高校
8位 松田 湧太 橿原高校
9位 山田 拓磨 橿原高校
10位 矢野 喜哉 畝傍高校

女子

- 1位 横前 茉奈美 郡山高校
2位 木村 知永 西の京高校
3位 根来 菜々香 橿原高校
4位 尾上 千佳 平城高校
5位 香西 杏美 五條高校
6位 青山 桃子 郡山高校
7位 小林 のの 桜井高校

- 8位 坂本 夢菜 榛生昇陽高校
9位 高谷 果歩 奈良北高校
10位 山科 美桜 平城高校



左から男子1位石田、2位辻本、女子1位横前、2位木の各選手
(高体連)

第60回関西学生弓道選手権大会 天理大学が男子団体準優勝の快挙

5月21～22日に神戸グリーンアリーナで第60回関西学生弓道選手権大会が開催され、天理大学Bチーム(脇田、中岡、上野、山崎、田中)が男子団体の部で準優勝を成し遂げた。因みに優勝は関西学院Aチーム、3位は京都大学Bチームだった。また男子個人の部でも上野椋平選手が3位に入った。その他に、山崎太成選手が7位、中岡稜選手が8位、中尾 信次郎選手が9位に入った。

第63回全日本勤労者弓道選手県大会 決勝トーナメント一回戦で敗退

6月10～12日 愛媛県松山市で標記大会に出場し、奈良県教職員は予選 10中 で決勝トーナメントに進出。決勝トーナメント一回戦では福岡県教職員と対戦し、6中 で敗退となりました。皆様方からの応援に感謝いたします。
(教職員 矢野)

橿原市総合選手権(兼県民体育大会市郡対抗戦橿原市代表選手選考会)が開催されました

5月15日(日)、五月晴れのもと橿原公苑弓道場及び橿原庭球場遠的射場において、平成28年度橿原市総合選手権(兼県民体育大会市郡対抗戦橿原市代表選手選考会)が開催されました。

大会は遠的12射、近的12射の計24射とし、男子5段以上の部、4段以下の部、女子3段以上の部、2段以下の部、オープン参加の部の5部門に分けて行い、総勢45名による熱戦が繰り広げられました。普段あまり練習していない遠的を数多く引けたり、今年も国体強化選手のオープン参加があり、競射のここぞという場面で本来の力を発揮する姿を見れたり収穫のある大会でした。

閉会式では阪中会長から、「離れで胴がぶれるのは、手先に力が入り丹田に力を入れていないことが原因

ではないか」、「入場の礼の際、対象物が明確でない場合（テニスコートでの遠的等）は正面をどう捉えるのか」、「このような大会では、引くだけでなく矢取りや看的の際も集中力を切らさず、また周りが運営のためにどういう動きをしているのか把握することも大切なのでは」というお話があり、今後の練習や大会運営の課題として取り組んでいきたいです。

最後になりましたが、大会に参加いただきました皆様に感謝申し上げるとともに、来年はさらに多くの協会員が参加し大会が盛り上がることを期待したいです。大会結果は次の通りです。

男子五段以上の部

1位：山本元祥 2位：奥田章人 3位：長濱正伸

男子四段以下の部

1位：佐藤聖太 2位：江澤翔 3位：角田圭一郎

女子参段以上の部

1位：林秀子 2位：長濱有美 3位：榎田容子

女子二段以下の部

1位：萩原佐都子 2位：前川なつき 3位：小西早紀

オープン参加の部

1位：新子修平 2位：桧尾涼 3位：揚田よう子

《県体選考結果》

男子代表

綿松昭寛、長濱正伸、原田祐介、(補欠) 角田圭一郎

男子監督 衛藤博史

女子代表

東中千佳、長濱有美、小野温美、(補欠) 豊嶋倫子

女子監督 榎田容子

県体では櫃原市チーム一丸となり、優勝目指して頑張ります！



県民体育大会櫃原市代表に選ばれた監督、選手たち

(櫃原市弓道協会 原田祐介)

近畿地区指導者講習会に参加して

5月21日～5月22日に平成28年度近畿地区指導者講習会が奈良市弓道場にて中塚祥一郎先生 近藤峯英先生を講師に迎え開催されました。



近畿地区指導者講習会での射技指導

1日目の午前は、参加者全員による一手行射。午後は主任講師による平成28年度指導方針の説明、そして射技研修が行われました。2日目の午前は主任講師及び講師による演武8

二人の一つ的射礼) 及び射礼研修(一つ立射礼、一つ射礼、持的射礼)が行われました。午後も引き続き射礼研修を行い、最後に検定試験で終了しました。

この2日間は私にとって初めての指導者講習会の研修で、初日からとても細かく射技を講評して頂き自身のこれからの修練の目標が明確になりました。また、「射法の基本に則ってという本当に理解していなければいけないことがら」を理解できていないことに気付きました。さらに、指導の難しさ、そして、どうすることが本来の指導かということも学ぶことができました。

例えば、教本の第1巻を読むだけではなく自分で読んだものを録音し、それを聞きながら自身で体配を実行してみることの勧めがありました。そうすれば、いかにできていない箇所があるのかがよくわかり、同時に、頭で考えながら動くより効果的に体配が身につくとのことです。教本は読み込めば読み込むほどに大切なことが沢山見つかるので教本をよく読むことが指導者としての基本であると改めて学びました。

最後になりましたが今回、2日間にわたり暑い中きめ細やかなご指導をいただいたことに感謝します。またお手伝いを頂きました奈良支部の皆様方と奈弓連の方々にお礼を申し上げます。有難う御座いました。

(奥戸 由美)

編 | 集 | 後 | 記

第4回ならシニア元気フェスタに参加しました。体育館での総合開会式では弓道選手の多さがひと際目立っていました。歳をとれば、技の上達に悪戦苦闘ですが、道場で仲間と弓を引き、心身共に健康な生活を送れることを感謝しています。

編集担当 野尻賢司